GREEN SYSTEM REN 取扱説明書-01

施工編

緑化基盤 特許証（第3847268号）

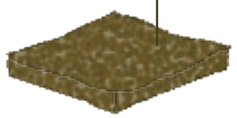
グリーンシステム　レン

杉の間伐材を利用した自然素材の緑化基盤材で、屋上や地面での緑化用の土壌として利用して頂ける循環型社会に適応した資材です。

この度は、グリーンシステム・レン基盤材をご購入いただき、誠に有難うございます。

内容物の確認

グリーンシステム・レン（基盤材の基本サイズと重量）-W500 x D500 x H50
乾燥重量13ｋｇ/㎡（保水時最大35ｋｇ/㎡）



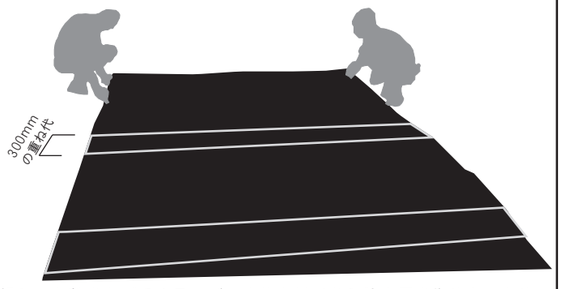
- 基盤材本体（標準タイプ）　X　4枚
- 取扱説明書（本書）
- 防根シート（2000mm x 1300mm：300mmの重ね代含む）
- 保水シート（1000mm x 1000mm）

オプション（別売品）

1、防根シート（追加用）
2、保水シート（追加用）
3、ブチルテープ（市販品）
4、芝･マット植物等（植物によっては適量の土が必要となります）
5、界面活性剤（推奨-サイマトイージー：（株）トモグリーン・ケミカル）
6、目土・肥料類
7、縁石類（市販品）
8、水撒き用のホース類
9、芝刈り機（袋付）
10、植木道具（メンテナンス用含む）
11、灌水装置システム（必要な場合）
共通：育成及びメンテナンス用の水栓及び電気設備
※オプション品が必要の際は、裏面に記載の連絡先へご連絡下さい。

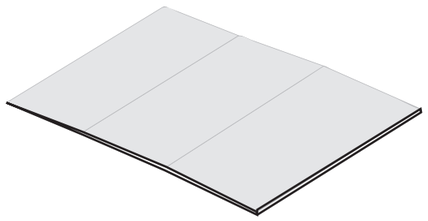
基盤材の準備：運搬には十分に注意をし、施工する場所に邪魔にならない様に基盤材を移動して下さい。

01



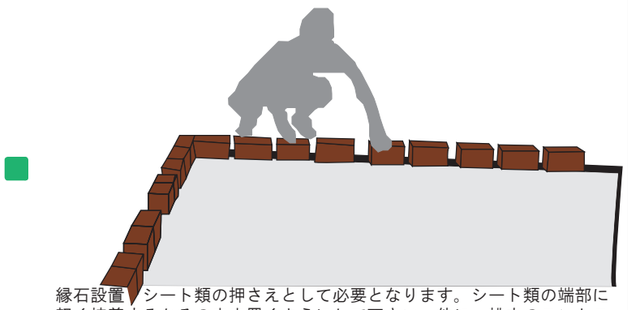
防根シート敷きとブチルテープ：床仕上材である防水層を傷めないために、必ず防根シートを張って下さい。また、1300mm幅の防根シートを300mm重ね合せ代を設け、ブチルテープで確実に接着して下さい。

02



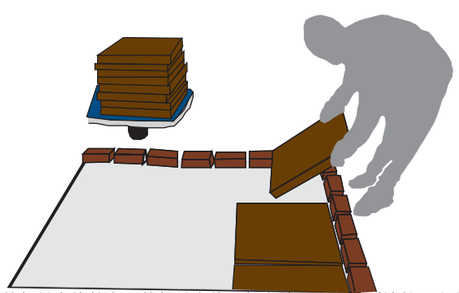
保水シート敷き：防根シート自体には保水機能はございませんので、基盤材を透過してきた水や手及び装置等で撒かれた水を溜めておくことも必要となりますので、保水シートも合わせて張って下さい。

03



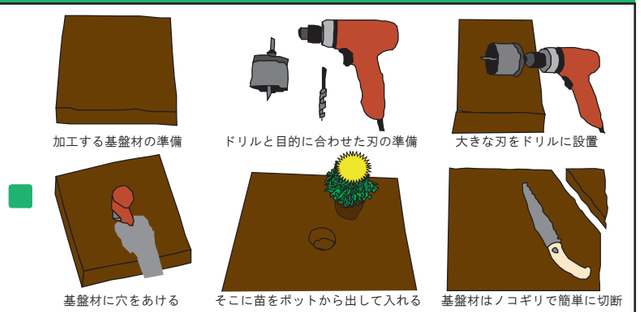
縁石設置：シート類の押さえとして必要となります。シート類の端部に軽く接着するかそのまま置くようにして下さい。他に、排水のコントロール・イメージ・アップ等の役割もあります。

04



基盤材本体敷き：基盤材本体を敷き詰めます。（端数の出ないように仮置などしてからだと施工しやすいです）

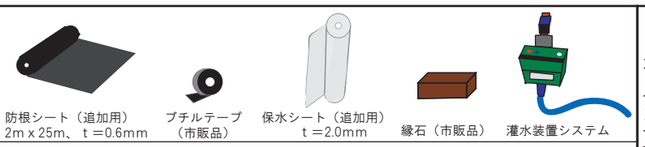
05



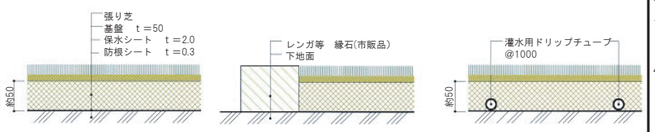
基盤材の加工方法：基盤材自体、一般的道具があれば簡単に加工できます。（道具の取扱には十分に気を付けて行って下さい）

06

オプション品

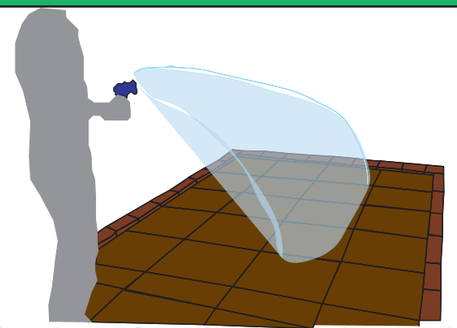


標準納まり図



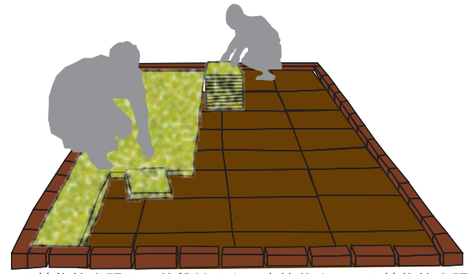
ガーデンデザイン・他

芝・マット植物及び他の植物をお植えになる際は、各植物により植える時期などございますので専門業者等にお聞きになり、お植えになるようお願い致します。また、基盤材を築山風に積むなどバリエーションをお考えの際は、当社にご連絡下さい。ご提案及びお見積りをさせて頂きたいと思いますので、ご遠慮なくお申し付け下さい。



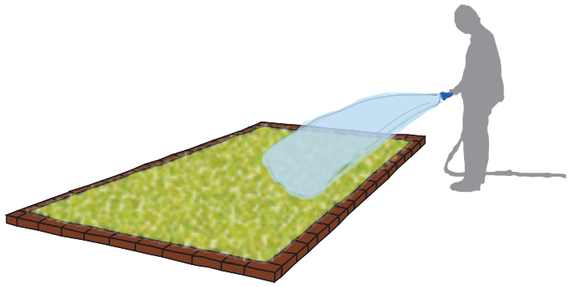
基盤材本体の設置後散水：基盤材本体は乾燥状態ですので、敷き詰めた後は、芝等を張る関係で基盤材自体に界面活性剤を撒き、十分な散水をお願いします。

07



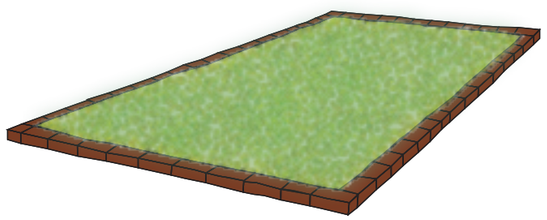
芝・マット植物等を張る：基盤材の上に直接芝やマット植物等を張りましょう。

08



芝・マット植物等張った後散水：芝やマット植物等を敷き詰めた後は、育成の為すぐに十分な散水をお願いします。

09



完成

10

参考事例（1）：芝以外としてマット植物類（写真はローズマリー）

11

参考事例（2）：芝以外として野菜類（写真はトマト）
- 野菜類等の栽培には基盤材が２段以上と土が必要となります。

12

GREEN SYSTEM REN 取扱説明書- 02 メンテナンス編

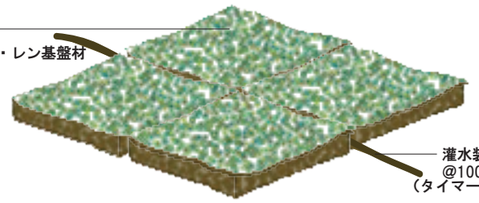
緑 化 基 盤 特許証（第3847268号）

グリーンシステム　レン

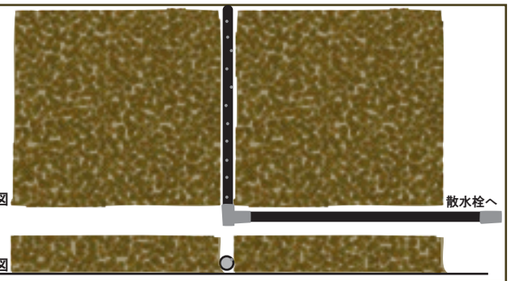
杉の間伐材を利用した自然素材の緑化基盤材で、屋上や地面での緑化用の土壌として利用して頂ける循環型社会に適応した資材です。

芝等の各植物には、メンテナンス（定期的灌水・芝刈り・施肥等）が必要です。

システム図



灌水装置



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
雑草対策	△	△	○	◎	◎	□	□	□	□	□	□	△	
芝刈り	×	×	×	△	△	○	◎	◎	◎	○	□	×	
灌水	△	△	△	○	○	◎	◎	◎	◎	○	△	△	
施肥	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	
害虫対策	×	×	×	△	△	○	□	□	○	○	△	×	

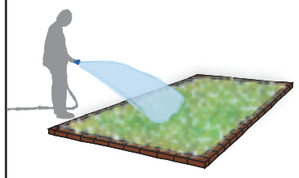
※この表は、関東地域- 姫高麗芝を基準としています。
また、場所や条件及び状況等で、基準仕様でも違う場合がありますので、参考目安として下さい。

全体年間スケジュール：◎：絶対、○：必要、□：普通、
△：適宜、×：不要

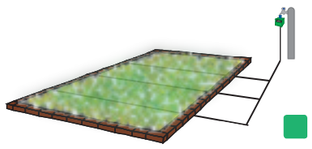
メンテナンス方法

施工後のメンテナンスは、以下となります。（関東地域- 姫高麗芝）
1.定期的な灌水（灌水装置使用・手撒き）
１回の灌水は6Ｌ/㎡以上必要です。
春（４月～5月）：2日に1回位（朝に実施）、夏（６月～9月）：毎日（早朝に実施が望ましい）、秋(10月～11月)：3日に1回（朝に実施）冬(12月～3月)：1週間に1回（凍結を避けるため、午後に実施）
2.定期的な芝刈り
2～3ｃｍの刈り高を目安とします。
伸びすぎた芝を急激に刈りますと「軸刈」となり枯れてしまいますので、伸びすぎた場合は草丈の半分位を目安に1ヶ月程かけて徐々に刈高を調節して下さい。(4月～6月)：月1回、（７月～8月）：月3回、（９月～10月）：月1回を目安に必ず芝刈りを行って下さい。
3.施肥
年間の施肥料は7～10ｇN/㎡が目安となりますが、春に緩効性の肥料（7～10ｇN/㎡）を目安に散布すれば、年に1回の施肥で済みます。

芝刈り用の道具：必要に応じ、適宜お選び下さい。



手撒き方法



灌水システム方法

芝刈り機

バリカン

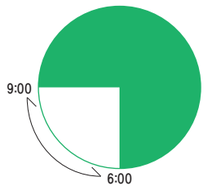
刈り込みバサミ

灌水の方法：面積が少ない及び目が行き届く場所にある場合は「手撒き」も可能です。目が行き届かない場所であったり屋上の場合は「灌水装置」使用を条件とされた方が良いでしょう。

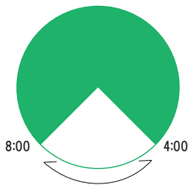
芝刈りの方法：面積が少ない場合は刈込みバサミやバリカン等で「手で刈る」ことも可能です。面積が広い場合は芝刈り機（袋付：飛散防止）を使用されることをお薦めします。

灌水時間帯
（地域・状況・規模等により変動あります）

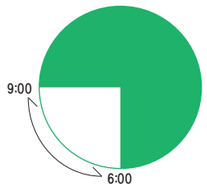
春(4月～5月)
灌水は2日に1回位（朝に実施）



夏(6月～9月)
灌水は毎日（早朝に実施）



秋(10月～11月)
灌水は3日に1回位（朝に実施）



冬(12月～3月)
灌水は基本的に不要となります。

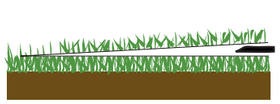
灌水は適宜で、5月からは芝刈り開始です。

灌水と芝刈りを頻繁に行います。また、この頃からは芝の病虫害にも気をつけて下さい。

灌水は頻度を落とし、芝刈りは11月までにはシーズン最後の刈り止めをして下さい。

根が休眠しているためなるべく踏まないように。３月からは雑草取りと施肥を適宜して下さい。

春(4月～6月)
芝刈りは月1回位



2～3ｃｍの刈り高を目安にして下さい。

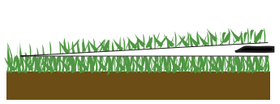
夏(7月～8月)
芝刈りは月3回位

伸びすぎた場合は１ヶ月程の時間をかけ

徐々に

2～3ｃｍの刈り高を目安にして下さい。

秋(9月～10月)
芝刈りは月1回位



2～3ｃｍの刈り高を目安にして下さい。

冬(11月～3月)
芝刈りは不要となります。

芝刈り
（地域・状況・規模等により変動あります）

MEMO

取扱注意
固形となっておりますが、叩いたり、落下させたり等の衝撃を与えますと破損の原因になりますので、十分に注意して取扱って下さい。お子様の手の届くところにこの製品を放置したりしないで下さい。
お気付きになられた点及びご不明な点等、何かございましたら、お気軽にご連絡下さい。

お問い合せ
販売代理店
KOZO Design Co.Ltd.
KOZOデザインはチャレンジ２５キャンペーンに参加しています。
受付時間 9:30～17:00（土・日祝祭日を除く）
〒164-0012 東京都中野区本町5丁目31番7号
サンテミリオン新中野601
TEL: (03)3382-1800 FAX: (03)3382-1820
URL: www.kz-d.co.jp E-mail: narimatsu@kz-d.co.jp

チャレンジ25